



有田市コミュニティ・スクールだより



8月7～8日、鮎茶屋にて1泊2日で行われました。市内各小中学校の代表（主に児童会・生徒会の役員）が参加するプロジェクトです。学校や地域をもっとよくするために自分たちにできることを話し合うなど、さまざまな活動を行いました。



熟議「NEXT ARIDA 子ども×大人のしゃべり場 ～学校×地域の今と未来を語る～」では、地域の（学校運営協議会委員）にも多数ご参加いただきました。よりよい学校や地域をめざして、子どもと大人がそれぞれの視点で熱い思いを語り合いました。写真と感想から一部ご紹介します。

心に残ったのは、子供と大人で学校や地域について話し合ったことです。問題点が見つかり、それをどうやって解決していくかを大人といっしょに話し合ったので、より解決策が考えやすくなりました。(小6)

初対面の大人の方と話すことがあまりないので、いい経験になりました。自分たちの学校や地域のことなどについて、改めて考えることができました。(小5)



議題は...

- ① 自分たちの学校や地域のじまん
子どもや大人のよいところ！
- ② 理想の未来を語ろう！
- ③ 今の自分たちにできること



この2日間で、地域の人との熟議が一番印象に残りました。大人の見聞も聞いたのでよかったです。(小6)

話し合った「地域をもっとよくしたいところ」を実際にしてみたい。あいさつ、ゴミひろいなど…。(小6)

地域の人たちってこんなことを思っていたんだということがたくさんあり、印象に残りました。(中3)

地域の人と交流することで、自分たちの視点で見ているのはまた違った考えを聞くことができ、一番印象に残っている。(中3)

これから地域の人たちともっと仲良くなり有田市について調べてみたい。(小6)

地域の人たちと有田市の現状を考えて、子供目線では分からないよいところや課題を知れたことが印象に残っています。(中3)

「地域の人といっしょに何かをする」という意見ができたので、小・中学校と地域の人とで何かやりたいと思った。(中3)

今以上に有田市を活性化させるために、挨拶など基本的なことや、ボランティアなど社会的なことを積極的に取り組んでいくとよいと思いました。(中3)



大変よかった。子供たちと地域や学校のことを話すのはとても楽しい。明るくて前向きでいい子供たちだった。有田市のためにも交流するのはいいこと。これからもぜひ続けてほしい。もう少し人数を増やしてもいいと思う。(学校運営協議会委員)

まさにスーパーキッズ。テーマに対して前向きに考え、時には場をリードする発言をしていました。大人の見聞をまず聞いてから自分の意見を出すなど、我々の方が子供だなど思いつつ感心していました。(学校運営協議会委員)

